「江別市小中一貫教育」☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

つなぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和４年７月２９日
第　７　号
江別市教育委員会
総務課・学校教育課

小中一貫教育　中央中学校区の取組

中央中学校区（中央中・対雁小・中央小）では、３校の主幹教諭が中心となり、「主幹会議」や「推進会議」、「全体会」等の組織を動かして学校間の連携をしっかりと図りながら小中一貫教育の本格実施に向けた取組を進めています。目指す子ども像は**「夢（目標）を持ち　粘り強くたくましく　学びあい高め合う子どもたち」**です。今年度は、中学校登校や部活動体験、教科指導・生徒指導交流、小中合同英語検定・漢字検定等の取組を行う他、目指す子ども像の具体指標の設定や「中央中学校区スタンダード」の策定等の取組も進めていく予定です。

中学校登校　対雁小 7/13（水）中央小 7/15(金)

中央中学校区の中学校登校が行われ、対雁小学校６年生が７月１３日（水）に、中央小学校６年生が７月１５日（金）に中央中学校を訪れました。

どちらの小学校もバスで来校し、２校時と３校時に数学科、理科、美術科の授業を受け、特別支援学級の子どもたちは音楽科と体育科の授業を受けました。子どもたちはとても緊張していましたが、中学校の校長先生が出迎えてくれたり、中学校の先生方が優しく指導してくれたりしたので、すぐに中学校の雰囲気に慣れていきました。

数学科の学習では、「ゲームで学ぶ数学『財産と借金ゲーム』」の学習が行われました。グループごとにトランプを使って楽しく活動する場面があり、子どもたちは笑顔で授業に参加していました。

理科は、「中学校の理科でどんな勉強をしていくか体験しよう」という課題で「サカキ」の葉を観察してスケッチをしたり、葉脈の標本を作ったりしました。子どもたちはビーカーの液体の色の変化に興味を持ち、歯ブラシを使って葉脈の標本を作る活動に夢中になって取り組んでいました。

校長先生との会話

数学科の授業

美術科の授業

理科の授業

美術科小中合同授業

体育科小中合同授業

美術科は、「トリックアートをつくろう」という課題で「３Ｄに見える手」を描いていく授業でした。美術科の先生から自分の手を立体的に描く手法を教えてもらい、手順に沿って描いていくと、いつのまにか手が浮き出ているように見えてくるという学習でした。

特別支援学級では、６年生の子どもたちが中学生と一緒に授業を受けました。音楽科では、「言葉のリズムを意識して音楽を表現する」ことを目標に、小中学生合同で３つのグループをつくり、一緒に声を出したり、リズム打ちをしたりする授業でした。中学生が小学生に教える場面が見られ、小学生からは「難しかったけど、あきらめずに頑張った。う

まくできて楽しかった。」等の感想が出されました。

体育科では、小中学生でチームをつくり、「ティーボール」というベースボール型ボール運動を行いました。初めに、中学生がリーダーとなって準備体操を行った後、先生からルールを教えてもらいました。ゲームが始まると、子どもたちは力いっぱいバットを振り、走り、ボールを追いかけていました。

小中の先生のＴ・Ｔ指導

今回の中学校登校では、小学校の先生が中学校の授業を参観し、一緒に指導を行うチーム・ティーチング（Ｔ・Ｔ）も行いました。３月まで小学校に在籍した中学１年生の子どもたちを見て、その成長を実感したり、中学校の学習内容や指導法等を学んだりする貴重な機会となりました。

今回の取組は、「中学校の日課で中学校の先生の授業を体験することによって進学への不安感を解消し、残りの小学校生活にも生かす」という目的で実施され、確かな成果をあげることができました。

小中合同英語検定 5/28（土）

小中合同英語検定

中央中学校区では、５月２８日（土）に小中合同の英語検定の取組も実施されています。中央中学校を会場にして小学生９名を含む３９名の児童生徒が参加し、全員が真剣に検定に臨みました。中央中学校区では今後、漢字検定の合同実施も予定しています。

◇◆◇

大麻東中学校区乗り入れ授業 6/14(火) 6/28(火)

中学校理科の先生による大麻泉小での授業

大麻東中学校区では、過日実施された中学校登校に引き続き、「乗り入れ授業」が行われました。１回目の６／１４（火）は、大麻東中学校の理科の先生が大麻泉小学校に出向き、乗り入れ授業を行いました。中学校の先生の興味・関心を引き出す指導によって、「硝酸カリウムを水に入れてあたためてとかしてみよう。そして、冷やしてとけた物質を取り出して形を調べてみよう。」という課題の解決に向けて、意欲的に活動する子どもたちの姿がたくさん見られました。授業後のアンケートには、「硝酸カリウムの結晶は不思議な形でした。もっと調べてみたいと思いました。６年生の理科をがんばって、中学校に行ってもがんばろうという気持ちがわいてきました。」等の前向きな感想が数多く書かれていました。新しい発見に驚いたり、次の疑問を持ったり等、子どもたちの知的好奇心を高める学習となりました。

２回目の６月２８日（火）は、大麻東中学校の数学科の先生が大麻東小学校の６年生の２クラスで授業を行いました。課題は「数の広がりについて考えよう」で、「正の数、負の数」や「平方根」について学習しました。数学科の先生は、途中計算の大切さや数の不思議さ、面白さに気付かせるように学習を展開していました。「正の数や負の数等、聞いたことのない言葉が出てきて難しかったけど、楽しく授業ができてよかったです。中学校の勉強は難しそうだけど、早く中学生になりたくなりました。」「新しい言葉が出てきたけど、数字の広がりを知ることができてよかったです。」等の感想が子どもたちから出されました。

中学校数学科の先生による大麻東小での授業

今回の取組は中学校の先生が小学校に乗り入れて授業を行うものでしたが、教科に対する興味・関心や意欲が高まる、中学校の先生の温かい雰囲気の授業を受け、進学意欲が高まる、中学校の先生が小学校の子どもたちの実態を把握することができる等、子どもたちにとっても、先生方にとっても有意義な実践となりました。